

令和5年1月27日

リユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定締結について



- 西宮市では一般廃棄物処理基本計画に定める基本方針の一つとしてリデュース（発生抑制）・リユース（再使用）の2 Rの優先的な実践を推奨するなど、様々なごみ減量の活動を行っています。
- 令和4年度より指定ごみ袋制度の導入を開始する等、さらなるごみの減量に取り組んでいるところですが、より環境負荷の少ない「ごみを減らし、資源を有効活用するまち」の実現に寄与することを目的として、株式会社 ecommit と連携協定を締結することとしました。

1. 連携協定の目的

ごみの減量を推進するためには、リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）の2 Rを優先的に実践することが重要ですが、各家庭で不要になり廃棄される家具や家電製品等の中にはまだまだ使用可能な物が数多く存在しています。より環境負荷の少ない「ごみを減らし、資源を有効活用するまち」の実現に寄与することを目的として、西宮市と株式会社 ecommit の連携と協力により、お互いの資源や機能等の活用を図って市内のリユース活動を促進し、リユース品の無料回収イベントの開催や、市の処理施設に持ち込まれた不用品の二次流通に関する実証事業を行います。

2. 協定締結日

令和5年1月27日（金）

3. 実証事業の内容

(1) 市の処理施設に持ち込まれた不用品のリユース

実施時期：令和5年2月1日（水）～3月31日（金）

実施内容：西部総合処理センターに持ち込まれた粗大ごみ等の中から再利用が可能な物を選別し、株式会社 ecommit がもつ多様な販売チャネルを活用することにより、選別品のリユース・リサイクルの促進を図ります。

(2) リユース品の無料回収イベントの開催

開催日時・場所：

①令和5年3月4日（土）9時～12時 山口支所（西宮市山口町下山口4丁目1-8）

②令和5年3月11日（土）9時～12時 塩瀬支所（西宮市名塩新町1）

実施内容：各家庭で眠っているまだ十分に使用できる不用品（家具・玩具・食器・雑貨等）の持参を呼びかけ、再利用が可能な物について、上記（1）と同様の流れでリユース・リサイクルを行う。

4. 各社等の概要

■西宮市

自治体名：西宮市

所在地：〒662-8567 兵庫県西宮市六湛寺町 10 番 3 号

代表者名：西宮市長 石井 登志郎

人口：484,129 人（男 224,925 人／女 259,204 人） ※令和 5 年 1 月 1 日現在

世帯数：218,936 世帯 ※令和 5 年 1 月 1 日現在

面積：100.18 平方キロメートル

ウェブサイト：<https://www.nishi.or.jp/>

■株式会社 ecommit（エコミット）

会社名：株式会社 ecommit

所在地：〒899-1921 鹿児島県薩摩川内市水引町 2803

代表者：代表取締役 CEO 川野輝之

ウェブサイト：<https://ecommit-kandk.com/>

事業内容：

株式会社 ecommit は、回収管理システムを駆使した全国対応型の回収物流ネットワークと、それらの経済的価値を最大限生かす選別ノウハウと販売ネットワーク、そして排出からリユース・リサイクルまでの過程を追跡しデータ化するシステムを強みとし、モノを循環させるためのインフラを構築・提供する循環商社です。

鹿児島県で創業し、事業開始から 15 期目となる 2022 年 12 月現在では、全国に 8 拠点を展開。衣類、家具、家電、雑貨、農機具、機械、建築資材など、あらゆるモノを対象に、全国約 1,300 箇所の顧客の拠点から回収事業を行っています。また、30 以上の自治体と連携し、クリーンセンターや地域内からまだ使えるモノを救出する事業も展開しています。「環境ビジネスに革新を起こす」ことを企業理念とし、世の中から廃棄品を減らし、サーキュラー・エコノミーを推進しています。

直近では、伊藤忠商事株式会社との業務提携によって、日本市場における繊維製品の回収サービス「Wear to Fashion（ウェア・トゥ・ファッション）」を展開しています。

お問合せ先

西宮市 環境局 環境事業部 美化企画課 森川（環境事業部長）・藪内（美化企画課長）

電話：0798-35-1571 FAX：0798-35-5851

西宮市 環境局 環境施設部 施設操作課 鳥羽（環境施設部長）・徳岡（施設操作課長）

電話：0798-22-6601 FAX：0798-26-9091